公益財団法人日本台湾交流協会

理事長　　谷崎　泰明　　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請団体名：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代　表　者：（職位・氏名）

**日本文化紹介イベント助成申請書兼誓約書**

貴協会の日本文化紹介イベント助成の募集要項に記載された内容をすべて確認し、同意した上で本申請書及び以下の提出書類を添えて申請いたします。なお、申請が承諾された場合は、下記遵守事項を守ることを誓約し、この誓約に違反したと貴協会が判断した場合には、助成の取消し措置を受けても異存はありません。

【提出資料】提出する資料の□部分にチェックを入れて下さい。１～３は必須です。

１．申請書（※1）

２．申請団体等の概要が分かる書類（原則として以下の４点全て）

役員名簿（※2）

定款又はそれに準ずる書類（※3）

団体等の沿革、事業実績、活動内容等（※4）

主催者と申請者が異なる場合、両者の関係性の分かる書類（契約書等）

３．今回助成を申請する事業の概要がわかる資料（※5）

４．食品提供のある事業等については公衆衛生上等の措置、また、スポーツ事業等については、事故防止、救護体制及、補償（保険等）措置等について適切な措置が講じられていることが分かる資料

記

【遵守事項】

１　今次申請する事業(以下「本事業」とする)の開催にあたっては申請団体が一切の責任を負い、安全上等において細心の注意を払い実施すること。

２　営利活動、政治活動、宗教活動、その他本事業開催目的の趣旨に反する活動及び行為は一切行わないこと。

３　本事業の開催にあたっては、公益性と非営利性を目的とし、金品の寄付、援助、事業参加等を強要しないこと。

４　事業関連資料に必ず当協会名を助成団体として掲載すること。また、ポスター、チラシ等の広報資料及びパンフレット、図録等の配付資料を各２部当協会に提出すること。

５　指定された項目に関するアンケート調査を実施し、その統計結果を報告すること。

６　添付した申請書および資料の内容を変更する必要が生じた場合は速やかに届け出て承認を得ること。

７　本事業開催期間満了後１か月以内（３月に開催した場合は１週間以内）に収支決算書を含む報告書等を提出すること。

８　収支決算において余剰金が発生する場合にはこれを社会的信頼のおける慈善団体もしくは慈善事業に寄付するか、次回開催する非営利目的事業に積み立て、また、不足金が生じた場合には申請団体にて負担すること。

以　上

※1：本フォームの（申―１）から（申―５）を指します。

※2：通常所属している団体及び勤務先及び活動の肩書又は経歴等が分かるもの

※3：規約、会則、寄付行為等いずれも有さない団体は、本件助成事業への申請資格がありません。

※4：公益法人の団体は開催年度及びその前年度の事業計画、収支予算書及び収支決算書を提出してください。

※5：例：企画書、出品リスト、プログラム等

申請書

（日本文化紹介イベント助成）

（申－１）

　申請日　　　年　　月　　日

公益財団法人日本台湾交流協会

理　事　長　谷　崎 泰　明　　様

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請団体 | 日本語名 |  | | 設立年：　　　　　　年　　　　月　　　　日 | |
| 中国語名 |  | | 年間予算額 | |
|  | | 氏名 | 職名 | | 署名 |
| 代表責任者 | |  |  | |  |
| 経理責任者 | |  |  | |  |
| 事業担当者 | |  |  | |  |
| 所在地 | | （郵便番号） | | | |
| （所在地） | | | |
| （事業担当者連絡先）  TEL:  FAX:  Email: | | | |
|  | | | | | |
| 申請団体の  主要業務内容 | |  | | | |
| 主要業務に関する主な実績 | |  | | | |
| 当協会の助成  について | | 以前受けたことが　ない　・　ある（　　　　　年、イベント名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | |

（申－２）

※台湾の２か所以上で事業を開催する場合は、実施場所ごとに必要事項を加筆してください。

紙面が不足する場合は、行を追加してページ数を増やしてください。ただし、追加ページは１枚までとします。

**申請対象事業の概要**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名称 | 日本語 |  | | |
| 中国語 |  | | |
| 事業実施期間 | | ２０　　　年　　月　　日　～　２０　　　年　　月　　日　（　　　日間） | | |
| 事業実施場所 | | 名　称：  所在地： | | |
| 予定参加人数 | |  | 入場料 | 有　料　　・　無　料 |
| １．事業内容の要約  ※この事業で紹介したい日本の文化とは何か、その魅力及び台湾のどの層を対象としているかについても記入してください。 | | | | |
| ２．事業の実施目的、意義  ※事業を実施することにより台湾の人々や社会に期待される効果、何を実施成果とするか、数値目標（台湾の専門家との交流機会、マスコミ掲載件数、専門サイトへの「いいね」評価件数等）についても記載してください。 | | | | |
| ３．共催・助成・後援団体情報（各協力団体の協力内容についても明記のこと） | | | | |
| ４．計画の経緯及び準備状況 | | | | |
| 計画の経緯  ※なぜこの事業を台湾で実施することになったのかについて記入してください。 | | | | |
| 準備状況  ※台湾における広報方法、２．の数値目標達成のために行う予定の準備についても記入してください。 | | | | |
| ５．助成を必要とする理由 | | | | |

（申－３）

**６．メンバーリストとその役割**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ｎｏ． | 氏　　名 | 役　　割 | 今回のイベントでの訪台の有無 |
| １ |  |  |  |
| ２ |  |  |  |
| ３ |  |  |  |
| ４ |  |  |  |
| ５ |  |  |  |
| ６ |  |  |  |
| ７ |  |  |  |
| ８ |  |  |  |
| ９ |  |  |  |
| １０ |  |  |  |
| １１ |  |  |  |
| １２ |  |  |  |
| １３ |  |  |  |
| １４ |  |  |  |
| １５ |  |  |  |
| １６ |  |  |  |
| １７ |  |  |  |
| １８ |  |  |  |
| １９ |  |  |  |
| ２０ |  |  |  |

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。（申－４）

**７．事業日程**

※日本から台湾に渡航する場合は、日本出発日から日本帰国時までを記載のこと。

関係者の滞在日程及び宿泊先も明記のこと。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年月日 | 日　　程 | 場所 |
|  |  |  |

（申－５展示）

記入例

**収支計画書**（**展示事業**）

**【収入】**　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 | ・作家航空賃　　　　　＠80,000×３名=240,000  ・作品輸送費（絵画30点）　　　　　　　100,000 | 340,000 |  |
| 例：  他機関からの助成金 | ・●●財団（決定）　　　　　　　　　　　　　150,000  ・◇◇県文化交流協会（内定９月上旬）300,000  　（作家公演　@100,000×3名） | 450,000 |  |
| 例：  協賛金額  寄付金等 | ・▽▽商事（株）（決定）　　　　　　　　　　　50,000 | 50,000 |  |
| 例：  入場料・出演料等 | 1台湾元=4.0円と想定  ・入場料収入＠200台湾元×4.0×50名＝40,000 | 40,000 |  |
| 例：  パンフレット  図録等売上げ | 1台湾元=4.0円と想定  ・図録売上収入＠200台湾元×4.0×10枚＝8,000 | 8,000 |  |
| 例：  その他の収入 | ★★美術館（台湾側共催団体）より、日本側関係者の宿泊先の無償提供あり（決定） | 0 | （現物供与） |
| 例：  自己負担金 | ・団体代表者旅費・滞在費  ＠200,000×1名＝200,000 | 200,000 |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること | 1,088,000 |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 31,25 % | | | |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

※作家及び専門家の宿泊費の上限額は人により異なります。そのため、採用が確定し、助成対象者が決まりましたら、協会担当者に同対象者の情報をご提出の上、ご確認ください。目安としまして、助成最高上限額が

１５，５００円／泊・人です。

（申－５展示）

**収支計画書**（**展示事業**）

**【収入】**　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること |  |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 　　　　 % | | | |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

※作家及び専門家の宿泊費の上限額は人により異なります。そのため、採用が確定し、助成対象者が決まりましたら、協会担当者に同対象者の情報をご提出の上、ご確認ください。目安としまして、助成最高上限額が

１５，５００円／泊・人です。

(申－６展示)

**収支計画書**（**展示事業**）

【支出】　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| 例：  航空賃 | ・作家　@80,000×3名= 　　　　　240,000  ・スタッフ　@80,000×2名=　　　　160,000  ・団体代表者@80,000×1名=　　　80,000 | 480,000 |  |
| 例：  宿泊費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  図録作成費 | @500×200部=　　　　　　　　　　　100,000 | 100,000 |  |
| 例：  作品輸送費 | 絵画30点　　　　　　　　　　　　　　100,000 | 100,000 |  |
| 例：  作品保険料 | 絵画30点　　　　　　　　　　　　　　　30,000 | 30,000 |  |
| 例：  現地交通費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  広告宣伝費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  会場費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  会場設営費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  国内準備費 | ・通信費　　　　　　　　　　　　　　　　10,000  ・図録原稿翻訳費　　　　　　　　　　68,000 | 78,000 |  |
| その他  記載のない費用については、行を追加してください。 | ・作家公演謝金  @100,000×3名=　　　　　　　　　　300,000 | 300,000 |  |
| 合　計　額 | ※収入の合計額と一致すること。 | 1,088,000 |  |

※本様式で紙面が不足する場合には別紙を追加してください。

※国際航空賃（エコノミークラス）の見積り書を添付してください。

※国際航空賃の証拠書類には、①Eチケットの控え、②搭乗券の半券（往復）、③領収書が必要です。紛失しないように気をつけてください。なお、②を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明書を取得し、添付してください。

(申－６展示)

**収支計画書**（**展示事業**）

【支出】　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合　計　額 | ※収入の合計額と一致すること。 |  |  |

※本様式で紙面が不足する場合には別紙を追加してください。

※国際航空賃（エコノミークラス）の見積り書を添付してください。

※国際航空賃の証拠書類には、①Eチケットの控え、②搭乗券の半券（往復）、③領収書が必要です。紛失しないように気をつけてください。なお、②を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明書を取得し、添付してください。

（申－５　公演）

記入例

**収支計画書（公演事業）**

**【収入】**　　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 | ・公演者航空賃　　　　　＠80,000×3名=240,000  ・荷物の輸送費（舞台衣装・小道具）　 　100,000 | 340,000 |  |
| 例：  他機関からの助成金 | ・●●財団（決定）　　　　　　　　 　150,000  ・◇◇県文化交流協会（内定９月上旬）300,000  　（公演者謝金　@100,000×3名） | 450,000 |  |
| 例：  協賛金額  寄付金等 | ・▽▽商事（株）（決定）　　　　　　 　50,000 | 50,000 |  |
| 例：  入場料・出演料等 | 1台湾元=4.0円と想定  ・入場料収入＠200台湾元×4.0×50名＝40,000 | 40,000 |  |
| 例：  パンフレット売上げ | 1台湾元=4.0円と想定  ・DVD売上収入＠200台湾元×4.0×10枚＝8,000 | 8,000 |  |
| 例：  その他の収入 | ★★劇場（台湾側共催団体）より、日本側スタッフの現地宿泊先の無償提供あり（決定） | 0 | （現物供与） |
| 例：  自己負担金 | ・団体代表者旅費・滞在費  ＠200,000×1名＝200,000 | 200,000 |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること | 1,088,000 |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 31,25 % | | | |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

（申－５　公演）

**収支計画書（公演事業）**

**【収入】**　　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること |  |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 　　　 % | | | |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

(申－６公演)

記入例

**収支計画書**（**公演事業**）

【支出】　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| 例：  航空賃 | ・講演者　@80,000×3名=　　　　240,000  ・スタッフ　@80,000×3名=　　　　240,000  ・団体代表者@80,000×1名=　　　80,000 | 520,000 |  |
| 例：  宿泊費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  荷物輸送費 | 舞台衣装・小道具一式（80kg）　　100,000 | 100,000 |  |
| 例：  プログラム作成費 | @500×200部=　　　　　　　　　　　100,000 | 100,000 |  |
| 例：  荷物保険料 | 舞台衣装・小道具一式（80kg） 　　30,000 | 30,000 |  |
| 例：  現地交通費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  広告宣伝費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  会場費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  会場設営費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：  国内準備費 | リハーサル経費  ・会場使用料　　　　　　　　　 　10,000  ・講演者交通費実費　@2,000×3名  ・スタッフ交通費実費 @1,000×2名  ・舞台衣装・小道具運搬費 @20,000 | 38,000 |  |
| その他  記載のない費用については、行を追加してください。 | ・公演者謝金  @100,000×3名=　　　　　　　　　　300,000 | 300,000 |  |
| 合　計　額 | ※収入の合計額と一致すること。 | 1,088,000 |  |

※本様式で紙面が不足する場合には別紙を追加してください。

※国際航空賃（エコノミークラス）の見積り書を添付してください。

※国際航空賃の証拠書類には、①Eチケットの控え、②搭乗券の半券（往復）、③領収書が必要です。紛失しないように気をつけてください。なお、②を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明書を取得し、添付してください。

(申－６公演)

**収支計画書**（**公演事業**）

【支出】　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠  （単価×人数等） | 小計 | 備考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合　計　額 | ※収入の合計額と一致すること。 |  |  |

※本様式で紙面が不足する場合には別紙を追加してください。

※国際航空賃（エコノミークラス）の見積り書を添付してください。

※国際航空賃の証拠書類には、①Eチケットの控え、②搭乗券の半券（往復）、③領収書が必要です。紛失しないように気をつけてください。なお、②を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明書を取得し、添付してください。

これ以降のページは、事業終了後一か月以内に添付資料とともにご郵送ください。

(報－１)

事業実施報告書

（日本文化紹介イベント助成）

日付：　　　年　　月　　日

公益財団法人　日本台湾交流協会

理 事 長　　谷 崎　泰 明　　　殿

所在地：

団体名：

代表者氏名：

貴協会の助成を受け、実施した事業に関し、下記のとおり報告書を提出致します。

記

1. 助成対象事業(事業名)：

２．事業実施期間：

２０　　年　　月　　日～２０　　年　　月　　日

1. 事業実施場所：
2. 事業報告：（報－２）のとおり。
3. 会計報告：（報－３）（報－４）のとおり。
4. 請求金額：（報―３の（A））のとおり。
5. **広報資料及び配付資料一式（**DVD・パンフレット・プログラム等）：各２部

※本様式以外にも作成した報告書がある場合には添付して下さい。

※本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加して下さい。

※制作した広報資料及び配付資料は、一式各２部を本報告書と共にご提出下さい。

(報－２)

事　業　報　告

１．事業概要

|  |
| --- |
| 誰を対象にしたどのようなイベントを実施したのか、また、事業実施にあたり、どのような工夫をしたか簡潔にご報告ください。 |

２．共催・助成・後援団体等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 団体名 / 氏名 | 協力形態（共催・助成・後援） | 台湾/日本/その他 |
|  |  |  |

３．事業日程

※当協会助成による参加者の滞在日数及び宿泊先も明記のこと。

※本様式で紙面が不足する場合は別紙を添付してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年月日 | 日　程 | 活動場所 |
|  |  |  |

４．実施結果(目的達成度、効果及び反響についての自己評価含む)

注意：各欄の括弧内には、計画書に記載していた予定数を記入してください。

| 項目 | 実施結果 | | | 交流協会担当者記入欄 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 参加人数と  会場入場比率  （計画時の数値） | 名  （　　　　　　　　名） | A:100％以上  　B:１００％  　C:７０％以上  　D:５０％以上  　E:５０％未満 | |  |
| 参加人数のうち  専門家やキーパーソン等の参加状況  （計画時の数値） | A:政府・政界関係者 | 名(　　　　　　 名) | |  |
| B:専門家 | 名(　　　　　　 名) | |
| C:マスコミ関係者 | 名(　　　　　　 名) | |
| D:有識者 | 名(　　　　　　 名) | |
| E:その他特筆すべき人物（氏名・肩書） | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
| メディアによる評価等  （計画時の数値）  ※主要掲載紙名等記載し、記事を別添してください。 | 報道件数 | 件（　　　　　　件） | |  |
| 特筆すべきコメント | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
| SNSでの反応  （計画時の数値）  ※括弧内には、計画書に記載していた予定数を記入してください。 | 閲覧数 | 件（　　　　　　件） | |  |
| 「いいね」数 | 件（　　　　　　件） | |
| シェア数 | 件（　　　　　　件） | |
| リツイート数 | 件（　　　　　　件） | |
| フォロワー増加数及び比率 | 件・　　　　　　％  （　　　　　　　件・　　　　　　％） | |
| 特筆すべきコメント | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
| その他事業成果  ※事後に得られた間接的な波及効果を含みます。できる限り定性的な成果を記載してください。 | (例：専門家の〇〇氏から「日本の××」展開催のオファーがあり、企画が始まった。) | | |  |
| 関係団体からの評価  （共催・協力団体等） |  | | |  |
| 今回のイベントの対象者の参加度 | 全体の　　　　　　　　割程度 | | |  |
| 参加者の反応 | （申請団体の自己評価） | | 該当するものに  チェック（✔） |
| （１）満足度 | A:とても満足していた | |  |
| B:まあまあ満足していた | |  |
| C:あまり満足していなかった | |  |
| D:不満だった | |  |
| E:どちらでもない | |  |
| （２）日本文化への関心や理解度 | A: 深まった | |  |
| B: 少し深まった | |  |
| C: あまり深まらなかった | |  |
| D:　逆効果だった | |  |
| E:　変化なし | |  |
| （３）日本の好感度 | A: 高まった | |  |
| B: 少し高まった | |  |
| C: あまり高まらなかった | |  |
| D:　好感を損なった | |  |
| E:　変化なし | |  |
| 特筆すべき参加者の反応 | 自由記述 | | |
| 全体的評価 | 所期の目標を達成したか、どのような苦労があったか、現地の反応はどうだったか等を簡潔にご報告ください。 | | |  |

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。

(報－３)

会　計　報　告

【収入】　　申請対象事業の実施に関係する全収入について記入して下さい。　　　　　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経費項目 | 申請書計上予算額 | 実績額  ※（A）は申請額 |
| 日本台湾交流協会に  要望した助成金額 |  | （A）  円 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合　計　額 |  | （B） |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= % | | |

【添付書類(領収書等)】

　※日本台湾交流協会の助成項目については、必ず領収書(原本証明を付したコピーでも可)を添付して下さい。

　※航空賃の場合は、領収書の他に、①Eチケットの控えと➁搭乗券の半券（往復）も提出して下さい。➁を紛失した場合は、代わりに航空会社から搭乗証明を取得し、添付して下さい。

　※外貨の計算は、原則として事業を開始する前日のレートを使用しますので、適用したレートと適用日が記載されたもの(銀行、ウエブサイトのレートが記載されたページをプリントアウトしたものでも可)を添付して下さい。日本円に換算後、小数点以下は四捨五入せずに切り捨てて下さい（事業開始日の前日が休日に当たる場合はその前日を適用して下さい）。

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。

(報－４)

会　計　報　告

【支出】　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 全　　体　　額 | | |
| 申請書計上予算額 | 実　　績　　額 | |
| 内訳 | 小　計 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合　計　額 |  |  |  |

【収支差】

|  |  |
| --- | --- |
| 収　　　入 | 円 |
| 支　　　出 | 円 |
| 差　引　額 | 円 |
| 余剰金の使途 |  |

※本様式で紙面が不足する場合には別紙を追加して下さい。

この請求書は、事業実施報告書と一緒に提出せず、日本台湾交流協会から助成額の確定通知が届いてからご提出ください。ＰＤＦデータのメール送信でも結構です。

(請－１)

**請　求　書**

（日本文化紹介イベント助成）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日付：　　　年　　月　　日

公益財団法人日本台湾交流協会

理事長　　谷崎　　泰明　　　　　殿

住　所　：

団体名：

(及び代表者名)

下記の金額を請求致します。

記

**金　　　　　　　　　　　　　　　　　円也**

(振込先)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 銀行名 |  | 支店名 |  |
| 銀行番号 |  | 店番号 |  |
| 普通預金　・　　当座預金 | | | |
| 口座番号 |  | | |
| 口座名義 | フリガナ | | |
| 漢字 | | |